

あまっこ部会

令和3年度 活動報告

あまっこ部会 小西 万弥

あまっこ部会 開催 計6回開催

①令和3年4月19日

- ・ 自己紹介
- ・ 尼崎市通所支援事業所連絡会（市内の5事業所で立ち上げた会）との意見交換
 - ※ 尼崎市通所支援事業所連絡会より3名参加（水口氏 山本氏 濱田氏）
 - ・ 尼崎市通所支援事業所連絡会設立に至ったきっかけ
 - ・ 職員研修について
 - ・ 支援内容/不登校支援/所属がない児童の割合/就学児の支援について
 - ・ あまっこファイルの活用について
 - ・ 自立支援協議会に期待すること、連携できること

②令和3年6月21日

- ・ 前回の尼崎市通所支援事業所連絡会の方の話を受けて委員内で意見交換

③令和3年8月16日（ZOOM）

- ・ （仮称）障害児通所支援事業所交流会について（趣旨説明し後日回答頂く）
- ・ あまっこファイル書き方教室→令和3年11月8日開催
- ・ あまっこファイル相談会→3月
- ・ あまっこファイルアンケートのスケジュールについて

あまっこ部会 開催 続き

④令和3年10月18日 (ZOOM)

- ・ (仮称) 障害児通所支援事業所交流会の詳細お伝え・意見交換

⑤令和3年12月20日 (ZOOM)

- ・ (仮称) 障害児通所支援事業所交流会について
- ・ あまっこファイル書き方教室の報告
- ・ あまっこファイルアンケート報告
- ・ 医療的ケア児について

⑥令和4年2月21日 (ZOOM)

- ・ (仮称) 障害児通所支援事業所交流会の次回予定について
- ・ あまっこファイル教育との連携について報告
- ・ あまっこファイル相談会について
- ・ 情報交換 (療育手帳取得率上昇、新型コロナウイルス感染について)

事務局会議 開催 計10回開催

① 令和3年4月13日 尼崎市通所支援事業所連絡会の方へ伺う内容検討

② 令和3年5月31日 ZOOM

尼崎市通所支援事業所連絡会の方の意見を受けて意見交換
(仮称) 障害児通所支援事業所ネットワーク設立に向けて

③ 令和3年7月 8日

④ 令和3年7月19日

⑤ 令和3年8月 4日 今後のスケジュール確認

⑥ 令和3年9月13日 (仮称) 障害児通所支援事業所交流会に向けて
あまっこファイルアンケート

⑦ 令和3年9月21日

⑧ 令和3年11月1日 (仮称) 障害児通所支援事業所交流会準備～当日の流れ確認

⑨ 令和4年1月13日 (仮称) 障害児通所支援事業所交流会開催について

⑩ 令和4年2月14日 特別支援教育担当とあまっこファイル普及について打ち合わせ

あまっこファイル書き方教室

令和3年11月8日(月)10時~12時@北部保健福祉センター
参加:保護者4名とのお子様1名、事業所支援者1名

アンケートより

○あまっこファイルについて

- ・ 進級する度に担任教諭に渡せるよう、あまっこファイルの簡易バージョンがあればと思った。
- ・ あまっこファイルがあると知ったこと(小児科の先生からの情報提供)で孤独から解放された気分になった。
- ・ 「□□があれば○○できる」という書き方が肯定的で良いと感じた。
- ・ 子どもの様子を学校や幼稚園に伝達するツールとしてとても良いと思った。

○あまっこファイル書き方教室について

- ・ 参加前に作成はしていたが、書き方教室で記入例を見て、不足しているところに多く気付くことができた。また、記入例がさらに充実してもらえたらと思う。
- ・ 最後にみたサポートブックの見本をもう少し見たかった。資料として載せてもらえると参考になる。
- ・ あまっこファイルへの理解を深めるために、今後も参加したい。
- ・ 講師の説明が丁寧でわかりやすかった。
- ・ 練習用でコピーがあれば良かった。

あまっこファイル相談会

令和4年3月8日(火)10時~12時@南部保健福祉センター
参加:保護者3名

アンケートより

○あまっこファイルについて

- ・ 「発達障害」については、親になって初めて身近に知ったものであり、理解したいと思えるものだと思う。また、全く知らない、身近にないものを理解してもらうのは本当に大変で難しいため、あまっこファイルがもっともっと知れ渡ればいいのになと、より思った。
- ・ 自分なりに絵本風に取り入れやすい可愛いものとか作ってもいいなあまっこファイルの書き方が広がった。
- ・ 自分の子どもの特性をどう伝えたらいいのかわからなかったのが、これをもとに書いてやりやすかった。
- ・ あまっこファイルの目的や書き方はすごく理解しやすかった。書きやすい作りになっているが、文章にするのが苦手なので、少し難しさを感じた。書き出すと例文もあり楽しく書くことができた。

○あまっこファイル相談会について

- ・ 先輩ママの体験談などが聞けたので良かった。
- ・ なんとなくしかわかっていなかったものが、具体的にわかりやすく「よし書こう」という気になれた。
- ・ 先輩ママさん情報はすごい参考になった。書いている時にアドバイスが頂けてわかりやすかった。

あまっこファイルアンケート結果

- 46人送付 27人返信
- (かしのき学園、あこや学園、たじかの園の過去3年間の卒園生であまっこファイル作成者対象)
- 年齢 6歳以下:5名 6歳~12歳:22名

(仮称)障害児通所支援事業所交流会について

- 今年度の活動目的の主として内容や方法の検討を行ってきた。
- 尼崎市通所事業所連絡会の方のお話を聞いたり、委員の方々も障害児通所支援事業所が抱える課題や、どんな取り組みをしているのかなど、関心も高まっており、児童に関する大きな役割を担っていることを確認、共有してきた。
- あまっこ部会でも課題を共有し、顔の見える関係作りの一歩になるよう準備をしてきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大時期(第6波)の開催を予定(令和4年1月27日)していたため、学校の休校や児童の感染が多く、児童への支援をされている方々に集まってもらうこともかえって負担ではないかと話し合い、延期とした。
- オンラインでの開催も検討していたが、第1回目は実際に対面でお会いするほうが、今後の関係作りの為にも有効ではないかと話し合った。
- 今年度のできるだけ早い時期に開催をしたい。

(仮称)障害児通所支援事業所交流会での検討事項

- ・まずは、事業所間で顔の見える、声をかけやすく、困ったときに相談しあえる関係づくりのきっかけとする。
 - ・あまっこファイルの存在や活用方法など、あまっこ部会の取組を知ってもらう。
 - ・障害児通所事業所の取組内容についての理解や共有。
 - ・必要な研修内容の検討を行い、参加や実施の中でスキルアップにつなげていきたい。
 - ・児童の場合、様々な関係機関(※)が携わることがあるので関係機関との役割の整理や機能の理解を行う。
- ※ 相談支援事業所、障害児通所事業所、いくしあ、保健師、医療機関、教育、保育など

令和4年度の取り組み

- ・(仮称)障害児通所支援事業所交流会の実施
 - 地域課題を把握し、自立支援協議会でも検討していけるように。
 - 尼崎の児童のことを皆で考え、保護者や支援者に寄り添っていけるような体制作りを目指す。
- ・あまっこファイルの普及啓発に向け、教育機関とのさらなる連携
 - アンケート結果も踏まえ、保護者、教育機関ともに利用しやすく、双方のコミュニケーションのツールとなるよう検討していく。
- ・あまっこファイル書き方教室、相談会の実施継続
 - アンケート結果をどう活かしていくかを検討していく。
- ・医療的ケア児支援部会
 - 令和3年度は実施を見送ったため、引き続き、関係機関と連携のうね内容や開催時期など検討していく。